

回答書

平成28年度地域健康力アップ推進事業に係る質問について

平成28年7月1日

No.	応募要項の項目	質問内容	回答
1	[P3] 6) I③イ) 指導者の手配・育成	「県内で活動する健康運動指導士、健康運動実践指導者、スタッフ等を、本事業で指定する講習会に派遣して指導者として養成し、担当してもらう」とありますが、具体的に講習会の日程・場所・費用等決まっているなら教えてください。	講習会については、以下の内容で検討しています。 <ul style="list-style-type: none">・ 8月上旬～中旬・ 沖縄本島内にて開催・ 費用は、1万円未満を想定 今後、指導者として学べる内容が多い内容となるため、できる限り参加するようお願いいたします。
2	[P3] I② 参加者の募集	人数目標が30名とあるが、実人数かまたは延べ人数か。1回あたりの教室の参加人数を指すのか。	1回あたりの参加人数を指します。
3	[P3] I③ 指導者の手配・養成	資格制度はないが指導実績のある指導者（体ほぐし等）の招へいは可能か	招へいは可能です。
4	[P3] I③ 指導者の手配・養成	事業期間中に開催する指導者向け講習会は、クラブ側が企画する指導内容と違う場合は参加しなくてもよいか	参加しなくてもよいが、採択クラブとして参加することが望ましいです。
5	[P3] I④ 効果の測定	定量測定「ロコモ度テスト」はロコモ井を食べるのか	「ロコモ度テスト」とは、日本整形外科学会が策定・推奨する、年

			<p>代平均値と比べ現在の自分の立つ・歩く・走る・座るなど、日常生活に必要な身体の移動に関わる機能を確認するためのテストで、子どもから中高年、シニア層まで楽しく気軽にできます。 <u>詳細は、日本整形外科学会公認ロコモティブシンドローム予防啓発公式サイトにて確認してください。</u></p>
6	[P3] I④ 効果の測定	定性測定「行動ステージ評価」はひな形を自クラブでつくりたいといけないか	ひな形は事務局アドバイザーが用意します。
7	[P3] I④ 効果の測定	「心理アセスメント」「QOL 調査」の意味を知りたい	<p>「心理アセスメント」はプログラムを行う前後にアンケート調査紙方式でクラブ会員の心身健康情報を収集することです。 「QOL 調査」は、Quality Of Life（生活の質）に重点を置いたアンケート調査です。 どちらも事務局アドバイザーがひな形を用意します。</p>
8	[P4] I⑥ 各種会議等への出席	出席に伴う旅費の計上は認められるとあるが、離島の場合1人当たりの出張で数万かかり、本島在住クラブと比較すると事業にあてがう費用が限られ離島クラブは応募段階からハンディが発生する。この場合は	仕様書にある委託予定額の範囲内にて調整をお願いします。

9	[P5] II ① 交流イベント事業	どのような扱いになるか 交流イベントクラブの100万円程度以下は、これ以上超える提案は不可ということでよいか	100～120万円以下で提案をお願いします。
10	[P5] II D 全国クラブ交流会の開催	「本事業の実施成果をもとに」とあるが、この場合、H27年度の実施成果をさすのか	今年度の事業の実施成果を指します。成果をアピールでき、今後のモデル事業となる全国クラブ交流会を開催してください。
11	[P5] D 全国クラブ交流会の開催	全国クラブ交流会の成果目標は ①県内クラブとの情報交換によるノウハウ共有 ②全国のスポーツクラブと県内各クラブとの交流を楽しむ 以上2点に留意して事業計画を提案すればよいか。全国クラブおよび県内クラブの参加数値目標は特に考えずに事業企画を策定してよいか	募集要項にある通り、企画提案者が考えて提案してください。
12	[P5] E 交流イベント・プログラムの開発	国内外からの旅行者向けオプションツアーの1つとして提供できるようなプログラムが望まれます」とあるが、旅行社に相談したところ、P4に実施期間が9～12月だと、準備期間が短すぎるので告知できないと言われた。また採択までのスケジ	解決方法1・2ともに可能です。本事業のメインターゲットは沖縄県民となり、国内外からの旅行者への対応はできれば望ましいということになります。報告書の提出は期日厳守でお願いします。

		<p>ルールだと、プログラム開発と募集告知を最短で1か月で準備して9月から募集をかける。収支見込みの予測を立てやすくするために交流イベント締切1か月前の設定の場合、募集期間が2か月しかなく、参加者を集められるか不安がある。解決方法として</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 旅行者向けのプログラムを優先せず、地域住民参加型メインでプログラム開発する 2. 開催時期を1月にずらす <p>上記の対応策は可能か?</p>	
13	<p>[P5] E 交流イベント・プログラムの開発</p>	<p>「運動習慣のない、もしくは少ない県民が関心を持ち、運動やスポーツをやってみたい、続けたいと思えるようなきっかけとなるプログラムやイベントを開発」とあるが、この場合実施プログラムは低強度のスポーツに限られたものと理解してよいか。例えばの事例にある要件がポイントとあるが、すべてを満たさなければいけないか</p>	<p>事例はあくまで参考です。なるべくたくさんの県民が参加しやすいプログラムが望ましいです。</p>
14	<p>[P5] 7) 委託内容</p>	<p>教室と交流プログラム両方で応募する場合、提案書式は異なるが、二つの事業の連動性・相乗効果についての説明はどの書式でまとめればよいか</p>	<p>交流イベント・プログラムの提案書式をお願いします。</p>

15	[P6] 10) 委託費の支払いについて	法人格を持たないので備品レンタルする際に前払いを要望されて対応できなかった案件があった。使用目的がわかるものについては概算払いは可能か	事前調整で可能です。
16	[P6] 11) 報告会・説明会セミナーの開催	今回参加したが、時間の関係で審査委員にあたる専門家との意見交換の場がなかった。普通の事業でなかなか招へいできない日本のトップクラスの専門家を委員に呼んでいただいているので、事業終了後ではなく、全国クラブ交流会の予算内で、事業期間中に採択クラブ以外にも声かけしてグループワークショップや、クラブにノウハウが残る機会を設けられないか	全国クラブ交流会は、企画から運営まで採択クラブが主体となりますので、質問された要望を取り入れた提案をお願いします。
17	【H27 年度地域健康力UP 推進事業報告書】 [P82]	自走化に向けた商業ベースに乗せることのメリット・デメリットとあるが、なぜ自走化と言いながらデメリットが想定されるのか。具体的な事例があれば教えてほしい。	商業ベースにのせるには、ある程度の先行投資やリスク負担の準備が必要です。しかし事業展開のために資金貯蓄がある総合型地域スポーツクラブはほとんどなく、課題（デメリット）として想定される、ということです。
18	[P89] 交流イベントについて	交流イベントのプログラム開発は「事業として利益を得るこ	原則として各クラブの評価は行っていないため事例はありません

	<p>て2)</p> <p>① 課題の絞り込み</p>	<p>とを主たる目的とするのではなく」とあるが前回採択事業者でそのような目的と見られる事業があったのか。</p> <p>また、自立・自走化の姿として自主財源で実施することも一つの選択肢とあるが、これらは、各クラブの財政状況を把握した上での提言なのか、または具体的な事例があれば知りたい</p>	<p>ん。交流イベントのプログラム開発は、個々のプログラムに対し「利益」を得るために行ったものではなく、プログラム開発を通して、クラブが独自に事業展開を行うノウハウの蓄積や人脈等ネットワーク形成、地域への取り組みを目的としています。</p>
--	-----------------------------	--	--